

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	内視鏡外科学 Endoscopic Surgery	DM_1430	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他	
-						
-						
溝口	◎小林 宏寿 松谷 哲行 谷口 佳三 三浦 文彦 (病院教授)		杉本 齊 藤本 大裕			

	内視鏡外科学Ⅰ（1年次）				内視鏡外科学Ⅱ（2年次）				内視鏡外科学Ⅲ（3年次）			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	幅広い知識と基本技術を備えた内視鏡外科医を育成するために、まず外科学全般の基本的知識と技術を講義(各領域指導医による講義)・演習(演習機器を用いた外科基本手技の演習)・実習(開胸・開腹手術の助手)を通して習得する。同時に各領域の内視鏡外科手術の理論・特性・基本手技を講義(各領域指導医による講義)・演習(演習機器を用いた内視鏡外科基本手技の演習)を通じて習得し、手術においては各種内視鏡外科手術の助手を務める。 *各領域＝上部消化管、下部消化管、肝胆膵、呼吸器				更に専門性を高めた内容の講義(各領域指導医による講義)・演習(演習機器を用いた内視鏡外科手術の演習)を継続するとともに、基本的な内視鏡外科手術(ヘルニア、胆石、虫垂炎、気胸などの良性疾患)を術者として施行する。手術を記録したビデオを指導医とともにチェックすることにより、知識・技術を更に高めるようにする。				更に専門性を高めた内容の講義(各領域指導医による講義)・演習(演習機器を用いた内視鏡外科アドバンスド手技の演習)を継続するとともに、難易度の高い手術(大腸癌、胃癌、肺癌などの悪性疾患)を指導医の指導のもとに術者として施行する。内視鏡外科技術認定医を取得することを前提に、手術を記録したビデオを指導医とともにチェックする。これにより知識・技術を更に高めるようにする。			
到達目標	① 外科学全般の基本的知識・技術を習得する。 ② 各領域の内視鏡外科手術の理論・特性・基本手技を習得する。 ③ 各領域内視鏡外科手術の助手を務める。 ④ 主要な外科手術の術前術後管理が指導的な立場で実践できる。 *各領域＝上部消化管、下部消化管、肝胆膵、呼吸器				①基本的な内視鏡外科手術((ヘルニア、胆石、虫垂炎、気胸などの良性疾患)を術者として実施できる。 ②難易度の高い内視鏡外科手術(胃全摘術、食道切除術、直腸切除術、肝臓切除術、肺癌に対する肺葉切除術・肺区域切除術、その他)の助手だ務められる。 ③卒前教育、卒後教育を指導的立場で担当できる。				①難易度の高い内視鏡外科手術(胃全摘術、食道切除術、直腸切除術、肝臓切除術、肺癌に対する肺葉切除術・肺区域切除術、その他)を、指導医のもとで術者して実施できる。 ② 内視鏡外科学の分野における最新の情報を生産、発信できる。 ③ 関連分野の研究計画を立案・実施できる。 ④外科学の分野で生じた科学的問題、および医療上の問題に対応し、それを的確に解決できる。			
事前事後学修	①各関連学会(特に日本内視鏡外科学会)から発行されている用語集を一読し、主な用語の内容を理解しておくこと。 ②日本内視鏡外科学会から発行されている「内視鏡外科手術メディカルスタッフマニュアル」を入手し、一読しておくこと。 ③内視鏡手術に用いる器具の名称・機能を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				1年次に自身が助手を務めた手術のビデオを繰り返しみて、自己評価を行う。模範ビデオとの差異を知る。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				2年次に自身が執刀した手術、助手を務めた手術のビデオを繰り返しみて、自己評価を行う。模範ビデオとの差異を知る。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度 30% 内視鏡外科手術の到達度 30% レポート・発表など 40%				受講態度 30% 内視鏡外科手術の到達度 30% レポート・発表など 40% ※内視鏡外科手術の到達度に関しては指導医がビデオを評価する。とくに安全面への配慮は不可欠である。				受講態度 30% 内視鏡外科手術の到達度 30% レポート・発表など 40% ※内視鏡外科手術の到達度に関しては指導医がビデオを評価する。とくに安全面への配慮は不可欠である。助手に適切な指示を出せているかも評価対象となる。			

■主な演習(講義・実習含む)

	内視鏡外科学Ⅰ (1年次)	内視鏡外科学Ⅱ (2年次)	内視鏡外科学Ⅲ (3年次)
Ⅰ	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
Ⅱ	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
溝口	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00	月 曜日 8 : 00 ~ 9 : 00
	消化器カンファレンス	消化器カンファレンス	消化器カンファレンス
	月 曜日 9 : 00 ~ 15 : 00	月 曜日 9 : 00 ~ 15 : 00	月 曜日 9 : 00 ~ 15 : 00
	外科手術	外科手術	外科手術
	金 曜日 16 : 00 ~ 18 : 00	金 曜日 16 : 00 ~ 18 : 00	金 曜日 16 : 00 ~ 18 : 00
	胸腔鏡下肺部分切除術	縦隔・胸壁腫瘍に対する胸腔鏡下手術	肺癌に対する胸腔鏡下肺葉切除術

教科書・参考書

特に指定はしませんが教科書による基礎事項の学習はしてください。

その他履修上の注意事項

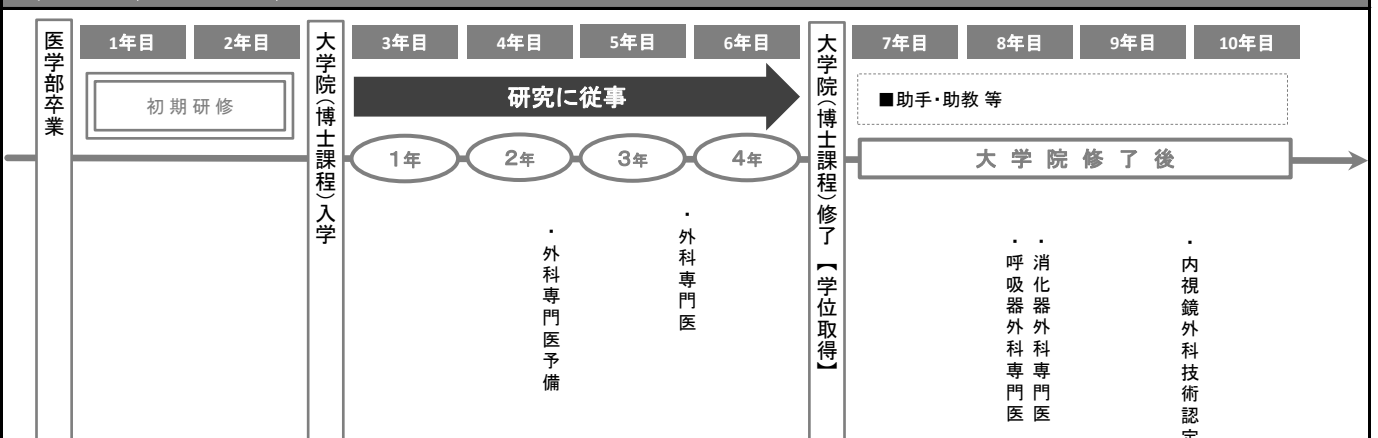
手術に際しては安全管理の知識が必要かつ重要であるので各学会あるいは大学で開催される医療安全講習会に複数回出席することが望ましい。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	人体病理学・病理診断学、脳神経科学、生理学系、放射線診断学・放射線腫瘍学、臨床腫瘍学について講義、演習コースで履修する。
	共通科目	外科学概論(必修)

関連する専門医資格

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。